

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## デュアルタイムについて

以下の操作は時刻モードで行ないます。

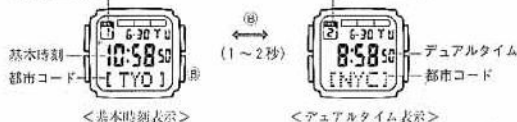
本機には基本時刻 (TIME 1) とあらかじめ登録されている40都市の中から選べるデュアルタイム (TIME 2) の2つがあり、表示を切り替えて使うことができます。  
 ※基本時刻も登録されている40都市の中から選ぶことができます。  
 ※デュアルタイムの「秒」「年・月・日」は基本時刻の「秒」「年・月・日」に連動して表示されます。  
 ※基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも24時間制で表示されます。

## デュアルタイム表示にするには

時刻モード<基本時刻表示>のとき、**⑧**ボタンを1~2秒間押します→<デュアルタイム表示>となり、セットされている都市の時刻を表示します。  
※もう一度**⑧**ボタンを1~2秒間押すと<基本時刻表示>に戻ります。

基本時刻表示のときは「TIME 1」

デュアルタイム表示のときは「TIME 2」



## 都市コードのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。

(1) **⑧**ボタンを1~2秒間押します

→「都市コード」が点滅します。

(2) **④**または**⑤**ボタンを押します→**④**または**⑤**ボタンを押すごとに都市コードが切り替わります。(下記「●都市コード一覧」参照)都市コード  
例)東京(3) **③**ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

## サマータイムのセット

基本時刻またはデュアルタイムのうち、セットしたい方を表示させます。  
なお、サマータイムは基本時刻もしくはデュアルタイムのそれぞれにセットできます。(1) **⑧**ボタンを1~2秒間押して「都市コード」が点滅したら、**⑧**ボタンを1回押します  
→「DST」マークとONまたはOFFが点滅します。(2) **③**ボタンを押します→**③**ボタンを押すごとにON/OFFが切り替わります。  
※DST ONにするとサマータイム設定\*になります。  
\*サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。「DST」はサマータイムを意味する「Daylight Saving Time」の略語です。

時間進む

(3) **③**ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

## ●都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
ADL	+9.5	アデレード	LON	+0.0	ロンドン
ANC	-9.0	アンカレジ	MEX	-6.0	メキシコシティ
BER	+1.0	ベルリン	MIA	-5.0	マイアミ
BKK	+7.0	バンコク	MIL	+1.0	ミラノ
CAI	+2.0	カイロ	MLE	+5.0	マレー
CCS	-4.0	カラカス	NOU	+11.0	ヌーメア
CHI	-6.0	シカゴ	NYC	-5.0	ニューヨーク
DAC	+6.0	ダッカ	PAR	+1.0	パリ
DEL	+5.5	デリー	PPG	-11.0	パゴパゴ
DEN	-7.0	デンバー	RGN	+6.5	ヤンゴン
DXB	+4.0	ドバイ	RIO	-3.0	リオデジャネイロ
GUM	+10.0	グアム	ROM	+1.0	ローマ
HKG	+8.0	ホンコン (香港)	SEL	+9.0	ソウル
HNL	-10.0	ホノルル	SFO	-8.0	サンフランシスコ
IST	+2.0	イスタンブール	SIN	+8.0	シンガポール
JED	+3.0	ジッダ	SYD	+10.0	シドニー
JRS	+2.0	エルサレム	THR	+3.5	テヘラン
KBL	+4.5	カブール	TYO	+9.0	東京
KHI	+5.0	カラチ	WLG	+12.0	ウェリントン
LAX	-8.0	ロサンゼルス	YVR	-8.0	バンクーバー

※この表は1997年12月現在作成のもので、

※時差はグリニッジ標準時 (協定世界時: UTC) を基準としたものです。

## 時刻・カレンダーについて

基本時刻とデュアルタイムは、あらかじめ登録されている都市の時差にしたがい連動しています。  
どちらかの時刻・カレンダーをセットすれば、都市コードを変更しても時刻・カレンダーを修正する必要はありません。

## 時刻・カレンダーの合わせ方

(1) **⑧**ボタンを1~2秒間押して「都市コード」が点滅したら、**④**ボタンを2回押します。  
→「秒」が点滅します。(2) 時報に合わせて、**⑧**ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

※秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)



00秒になる

(3) 以後、**⑧**ボタンを押すごとに点滅箇所が「秒→時→分→日→月」の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

都市コード

(4) **④**または**⑤**ボタンを押します→**④**ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1ずつ進み、**⑤**ボタンを押すごとに1ずつ戻ります。  
※**④**・**⑤**ボタンとも、押し続けると早送りできます。

(進む)

(3)~(4)の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

★12/24時間制表示切替のときは、**⑧**ボタンを押すごとに12時間制表示 (12H) と24時間制表示 (24H) とが切り替わります。※「時」のセットのとき午前/午後 (P) または24時間制にご注意ください。  
※「年」は西暦で1995~2039年の範囲でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なおカレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。(5) **③**ボタンを押して、点滅を止めます

※点滅表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

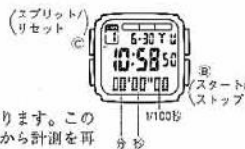
## ストップウォッチの使い方

時刻モードのときに**⑧**ボタンを3回押すと、ストップウォッチモードになります。

ストップウォッチは59分59秒99 (60分計) まで計測でき、以後自動的に00に戻って計測し続けます。

## 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

**⑧**ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします※計測中に**⑧**ボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度**⑧**ボタンを押すとその時点から計測を再開します。(積算計測)※計測中に**④**ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。(SPLIT点灯) もう一度**④**ボタンを押すとスプリットが解除されます。※計測終了後**④**ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

## ●通常計測

**⑧** → **⑧** → **④**  
 スタート      ストップ      リセット

## ●スプリットタイム (途中経過時間) の計測

**⑧** → **④** → **④** → **⑧** → **④**  
 スタート      スプリット      スプリット解除      ストップ      リセット  
 「スプリットタイム表示」

## ●1・2箇同時計測

**⑧** → **④** → **⑧** → **④** → **④**  
 スタート      1箇ゴール      2箇ゴール      2箇タイム表示      リセット  
 (1箇タイム表示)

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## ファイル機能の使い方

時刻モードのときに⑩ボタンを1回押すと、ファイルモードになります。

ファイル機能は名前8文字と電話番号12桁を最大30件まで記憶できます。ファイルモードに切り替えると、前回ファイルモードで最後に見たデータを表示します。また、データを入力すると、名前順に並び替え（自動ソート）が行われますので、データを探すときもたいへん便利です。

・自動ソート…記憶されたデータは名前の先頭から比較し、自動的に整理されます。比較順序は（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（-、/、:）です。

### データの呼び出し

ファイルモードのとき、⑩ボタンを押します

- ⑩ボタンを押すごとに名前順に進みます。  
※押し続けると早く進みます。



### データを入力（修正）する

#### (1) ファイルモードのとき、

⑩ボタンを押して、残りメモリー数（修正ページ）を表示させます

※残りメモリー数表示のときは“REST”と表示されます。

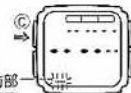
※30件すべて入力してあるときは“FULL”と表示されます。このときは不要データを消去しておいてください。（「データを消去する」参照）

#### (2) ⑩ボタンを1～2秒間押します

→名前順1桁目が点滅します。



<残りメモリー数表示>



名前順  
1桁目

#### (3) 点滅箇所のセット

⑩または⑨ボタンを押します

→⑩ボタンを押すごとに点滅箇所の文字が1つずつ進み、⑨ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※⑩、⑨ボタンとも、押し続けると早送ります。

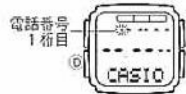


(戻る) ⑨  
←  
⑩ (進む)

#### (4) 点滅箇所を選ぶ

⑩ボタンを押します

- ⑩ボタンを押すごとに点滅箇所が「名前順1桁目」～「8桁目」→「電話番号部1桁目」～「12桁目」→「名前順1桁目」の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、⑩ボタンでセットしたい箇所を選びます。



(3)～(4)の操作を繰り返して、データを入力（修正）します。

#### ★名前部は最大8文字、電話番号部は最大12桁まで入力できます。

★入力できる文字は名前部セットのときは（スペース）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）、記号（-、/、:）で、電話番号部セットのときは、数字（0～9）、（スペース）です。

#### (5) セットが終わりましたら、⑩ボタンを押します

一点減りが止まり、入力したデータを表示します。

※名前部を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。

※続けてデータを入力したいときは、(1)～(5)の操作を繰り返し行ないます。

※入力したデータは名前順に並び替えられます。

※ファイルモードのまま2～3分すると自動的に時刻モードに戻ります。

### データを消去する

(1) ⑩ボタンを押して消去したいデータを選びます。

(2) ⑩ボタンを1～2秒間押します。

※名前部1桁目が点滅します。

(3) ⑨、⑩ボタンを同時に押します。

※確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。

(4) 消去が終わりましたら、⑩ボタンを押します。

## アラームの使い方

時刻モードのときに⑩ボタンを2回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

### アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

⑩ボタンを押します

- ⑩ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると“ALM”が点灯し、自動的にアラームONとなります。

（「アラーム時刻のセット」参照）



### アラーム・時報の報知方法

アラーム・時報は時刻モードで表示させている時刻に合わせて鳴ります。

#### ●アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

#### ●時報ONのとき

毎正時（00分）になると、“ピピピ”と電子音が鳴ります。

### 鳴っている電子音を止めるには

アラーム（時報）音を止めるには、⑩⑨⑩⑩ボタンのうち、いずれか1つを押します。



### モニターアラーム

アラームモードのときに⑩ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

### アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

⑩ボタンを1～2秒間押します

- アラーム時刻の「時」が点滅します。

※このとき“ALM”が点灯し、アラームONとなります。

アラームマーク



時分 アラーム時刻

#### (2) セット箇所を選ぶ

⑩ボタンを押します

- ⑩ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅します。



分

#### (3) 点滅箇所のセット

⑩または⑨ボタンを押します

- ⑩ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が1つずつ進み、⑨ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。



(戻る) ⑨  
←  
⑩ (進む)

※⑩、⑨ボタンとも、押し続けると早送ります。

※「時」のセットのとき、午前/午後（P）または

24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

#### (4) セット後、点滅を止めるには、

⑩ボタンを押します

※点滅表示のまま1～2分すると自動的に点滅が止まります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

※表示は機種により異なる場合があります。

### 時刻モード

#### <基本時刻表示>

基本時刻表示のときは「TIME1」

オートライト ONマーク

午後マーク◎ボタン (午前は不点灯)  
◎ボタン (モード切替)

1時・分・秒  
◎ボタン (表示切替)

都市コード

#### <デュアルタイム表示>

デュアルタイム表示のときは「TIME2」

デュアルタイム

時刻モードで◎ボタンを押すごとに、「都市コード」と「年」が切り替わります。

都市コード [TYO] ←→ 年 1998

★表示切替  
時刻モードで◎ボタンを1～2秒間押しすごとに、基本時刻表示 (TIME1) とデュアルタイム表示 (TIME2) が切り替わります。

★曜日の見方  
H : S U 月 : M O 火 : T U 水 : W E 木 : T H 金 : F R 土 : S A

### ファイルモード

電話番号  
モードマーク  
名前部

### ストップウォッチモード

現在時刻 (デュアルタイム表示が選ばれているときはデュアルタイム)

計測値  
モードマーク

### アラームモード

現在時刻 (デュアルタイム表示が選ばれているときはデュアルタイム)

アラーム時刻  
モードマーク

●デモ機能について  
本機は工場出荷時に「デモ (デモストラクション) 機能」に設定してあります。(デモ機能では通常のボタン操作はできません)  
\*「デモ機能」とは時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●デモ機能の解除…◎ボタンを1～2秒間押し、デモ機能が解除されます。

●デモ機能にするには…解除時と同様に◎ボタンを1～2秒間押し続けます。

## 表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル (エレクトロルミネッセンスパネル) が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

### ◎ボタンを押して発光させる ～手動発光～

◎ボタンを押します

→どのモードのときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。  
※オートライトON/OFFにかかわらず、◎ボタンを押すと発光します。



### ●時計を傾けて発光させる ～自動発光(オートライト)～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。

オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約2秒間発光します。

準備 どのモードのときでも、◎ボタンを約2秒間押しすと、「+」が点灯して「オートライトON」になります。

※もう一度◎ボタンを約2秒間押しすと「+」が消え、「オートライトOFF」になります。



### ●文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。

※このとき、文字板の左右 (3時～9時方向) の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。

### <EL発光についての注意事項>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

### <オートライトご使用時の注意>

●オートライトが作動するのは、「+」を点灯させてから約3時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に「+」が消え、オートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度◎ボタンを約2秒間押し、「+」を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。

●文字板発光後、時計を傾けたままにしていても、発光は2秒間のみとなります。

●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが作動しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。